

# 秋の夜長に読書を。



『シンプルに生きる  
ストレスからの解放』  
ドミニック・ロー・ホー／著  
幻冬舎／発行 2011年6月／刊

シンプルに生きることを意識する！

“シンプルに生きる”シリーズ最新刊です。毎日の生活を限りなくシンプルにすることで得られる幸せ。心にルールを決め置くことで、どれほど多くの無駄がなくなるかという、自分の生活を振り返り、ハッとさせられる考え方です。無駄をなくしていくと、人は心穏やかに過ごすことができるのです。著者はフランスに生まれ、イギリス、アメリカ、日本で大学の教鞭をとり、イメージコンサルタント法、ヨガ、墨絵、曹洞禪を学ぶなど、多くの経験を持つ人物です。

“シンプルに生きる”ための考え方をわかりやすく説いています。まずは気持ちの一歩から。日々の穏やかさを求める方におすすめです。

『東日本大震災  
被災地との絵手紙』  
小池邦夫／著  
中央公論新社／発行 2011年1月／刊

心と心で支えあう、毎日の記録。

3月11日に起きた東日本大震災の後、知り合いの消息を慮って投函された絵手紙の数々。絵手紙講師であった著者のもとには、被災した人々からの返信が続々と届き始めたそうです。思いやりへの感謝を伝える人、痛切な胸のうちを明かす人、希望を見い出し、日常の些細な幸せを描いた人、力強く決意を語る人。差出一人ひとりの思いが筆遣いに表れて、小さな紙の上いっぱいに広がっています。これは“ひとりひとりの生き方の本”（本文より）。深い思いが込められた絵手紙の言葉と絵に、心、揺さぶられます。

369.3  
Ko,31

『東日本大震災  
自衛隊救援活動日誌  
東北地方太平洋沖地震の現場から』  
須藤彰／著 扶桑社／発行  
2011年7月／刊

“あの日”から始まった長い道のり。

平成23年3月11日は、多くの日本人にとって忘れることができない1日となりました。あの日から、ニュースで報じられる被災地の現場には、多くの自衛隊員の姿があります。本書は防衛省本省と自衛隊第一線部隊の間を“繋ぐ”役割を担う「政策補佐官」である著者が、震災直後から目にしたもの、感じたものを「備忘録」として書き留めた日誌です。震災当日から約一ヶ月分の掲載ですが、その毎日は、人としての苦楽の感情が織り交ざり赤裸々な言葉で綴られています。震災の現場を伝えてくれる貴重な日誌です。あなたは、語られる現実に何を感じるでしょうか。

392.1  
Su,14

『1000ヘクトパスカル  
の主人公』  
安藤祐介／著 講談社／発行  
2011年7月／刊

空の青さは、いつも違うよ。

現代の若者の苦悩する姿、夢と現実を見極めようともがく姿、青春時代そのものが描かれた物語です。なんとなく毎日を過ごしていた、ごく普通の大学生である主人公が、ある日、空を見上げたことがきっかけで出会った女の子。彼女との会話から彼の人生は変わり始め、かといって、急にすべてがうまくいくわけもなく……。人生って、どんなにささいなことがきっかけで奇跡が起こるかわからない。そんな可能性を教えてくれる一冊です。著者は『被取締役新入社員』で第1回ドラマ原作大賞を受賞した、福岡県出身の現役公務員作家です。

F  
A,47

『戦前探偵小説四人集』

羽志主水、水上呂理、星田三平、  
米田三星／著 論創社／発行  
2011年6月／刊

作家四人衆の作品が大結集。

この4人の作家の名を知っているあなたは、きっと探偵小説通！ 本書は、遺した作品数が極めて少ない作家4人のこれまで刊行の機会に恵まれなかった、いわば“幻”的な小説、隨筆を収めた作品集です。世にでることがなく惜しまれていた作品が、贅沢にも1冊になりました。1920年から1950年まで発刊された雑誌『新青年』に執筆をしていた彼らですが、『新青年』といえば、江戸川乱歩や横溝正史をはじめとする探偵小説作家の輩出に大きな役割を果たした雑誌です。時代を反映しつつ「先鋭的な試み」をしていたという4人の世界を堪能してみませんか？

『文盲アゴタ・クリストフ自伝』  
アゴタ・クリストフ／著 堀茂樹／訳  
白水社／発行 2006年3月／刊

言葉の通じない国での作家の挑戦。

国境近いハンガリーに生まれた著者は、21歳でスイスに亡命。母語の通じない環境でフランス語を習得し『悪童日記』で一躍脚光を浴びる作家となりました。その体験において、自らを“文盲”といい、書くことで“挑戦”をするのだという思いを込めて、このタイトルがつけられました。読むこと、書くことに親しんだ幼少年期、母国をおそった戦争のための亡命体験、難民としてスイスに渡ってからの生活、作家としての挑戦。彼女が過ごした日々が、まるで物語のように綴られています。

■編集 ■ 佐賀県立図書館 企画課  
図書館ネットワーク担当

お問い合わせはこちらまで。  
次号は11月発行です♪

950.2  
Kr,5

F  
H,37

